

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和2年度

施策コード	112	施策	人権の保障
管理事業	交流活動館事業	所管部局	市民部

1	所管室課	人権政策室交流活動館	事業名	交流活動館管理事業
事業概要				
交流活動館管理				
活動実績		年度	令和2年度	評価の視点
施設管理委託料(清掃業務委託料ほか)		決算額(千円)	26,439	
修繕料(消火ポンプ室雨漏れに伴う緊急屋上修繕ほか)		一般財源の比率(%)	93.0	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性
報酬(会計年度任用職員報酬ほか)		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		
・築50年が経過し、建物の老朽化に伴い、設備面での修繕費用の確保が急務となっている。				
今後の実施計画の方向性・内容				
継続				
引き続き、適切な維持管理に努める				

2	所管室課	人権政策室交流活動館	事業名	交流活動館啓発事業
事業概要				
人権啓発交流推進				
活動実績		年度	令和2年度	評価の視点
吹田市交流活動館地域人権啓発事業(人権啓発講演会・研修会等、広報・啓発活動等)助成金		決算額(千円)	1,200	
助成額 1,200,000円		一般財源の比率(%)	100.0	※課題があるものは■ <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
助成先 一般社団法人吹田市きしべ地域人権協会		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		
新型コロナウイルス感染症の影響により、助成金を活用した啓発事業が中止、縮小となった。今後、助成金をより効果的に活用できる方策を検討する。				
今後の実施計画の方向性・内容				
継続				
引き続き、助成金を活用して効果的な啓発を実施する。				

3	所管室課	人権政策室交流活動館	事業名	交流活動館主催事業
事業概要				
教養文化講座等				
活動実績		年度	令和2年度	評価の視点
市民の生活文化の向上、健康・福祉の増進、並びに交流を図ることを目的とした教養文化講座(そろばん教室、識字教室、介護予防健康体操教室ほか)		決算額(千円)	980	
開催回数 令和2年度 84回 令和元年度 258回 平成30年度 279回		一般財源の比率(%)	63.7	※課題があるものは■ <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
参加人数 令和2年度 1,029人 令和元年度 6,992人 平成30年度 7,373人		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		
新型コロナウイルス感染症の影響により、教養文化講座開催回数、参加人数も減少した。現在、感染防止対策をとりながら事業を実施している。今後、コロナ禍における新しい事業のあり方(実施方法や内容)について更に研究していく。				
今後の実施計画の方向性・内容				
継続				
利用者アンケート調査を行い、より効果的な事業実施に繋げる。				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和2年度

施策コード	112	施策	人権の保障
管理事業	交流活動館事業	所管部局	市民部

4	所管室課	人権政策室交流活動館	事業名	交流活動館相談事業
事業概要				
総合生活相談・人権ケースワーク				
活動実績		年度	令和2年度	評価の視点
【相談事業における相談件数】		決算額（千円）	12,635	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
総合生活相談事業	令和2年度 341件	令和元年度 367件	平成30年度 336件	
人権ケースワーク事業	72件	62件	67件	今後の実施計画の方向性・内容
		一般財源の比率（%）	83.1	継続
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		引き続き、相談支援の充実を図る。
		複雑多様化する相談内容に対応するため、相談員のスキルアップを図るとともに、関係機関とのネットワークの活用や連携を強化していく。		

	所管室課		事業名	
事業概要				
活動実績		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額（千円）		※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		一般財源の比率（%）		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		今後の実施計画の方向性・内容

	所管室課		事業名	
事業概要				
活動実績		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額（千円）		※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		一般財源の比率（%）		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		今後の実施計画の方向性・内容

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名